

長年のアトピー治療後に再発と再治療を経験した成人アトピーの経過 (40 代女性)

症例 ID：001-40-GK3 | 記録日：2017 年 5 月 28 日

1. 診断・治療前経過

5 歳頃から手の甲や肘の内側に赤くかゆい湿疹があり、複数の医療機関を受診していました。大学時代には症状が比較的落ち着いていましたが、就職、結婚、生活環境の変化後に悪化を繰り返し、首筋、手の甲から腕全体、脇、腹部など広範囲に症状が出るようになりました。

ステロイドを塗っても治らなくなっていることに不安があり、漢方薬局で当帰芍薬散を半年ほど飲んで一時改善しましたが、完治には至りませんでした。2013 年秋頃、夫の友人から松本医院のことを聞き、受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	小児期から成人期にかけて、湿疹に対してステロイド外用薬を使用していました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	長年にわたる断続的使用歴があります。
中止時期	松本医院受診後、ステロイドを使用しない方針となりました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。再発までの 4 年間はステロイドを使用していませんでした。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
5 歳頃～成人期	来院前	手の甲、肘内側、首筋、腕、脇、腹部などに症状が広がりました。
2013 年秋頃	治療開始	松本医院を受診し、漢方薬と外用薬を開始しました。
治療開始数か月後	リバウンド期	両手甲から首筋、両腕全体、脇、腹部、太もも内側へ湿疹が広がり、かゆみと赤みが強く、2 か月間まともに眠れませんでした。
約半年後	回復傾向	強いリバウンドは 2 か月程度で、半年ほどではほぼ落ち着きました。
その後	中断	夫の転勤に伴う渡米で治療を中断しました。赴任先では強い紫外線に気をつける以外、湿疹の悪化は気になりませんでした。
2017 年 3 月	再発	両手甲に強い赤い湿疹、脇や腹部に軽い湿疹が出ました。
2017 年 5 月	再治療	4 年ぶりに松本医院を受診し、内服開始後 1 か月未満で明らかな変化がみられました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始数か月後に両手甲から首筋、両腕、脇、腹部、太もも内側まで湿疹が広がり、かゆみと赤みで 2 か月間まともに眠れなかった時期です。

5. 困りごと

- ・ 広範囲の湿疹とかゆみにより、2 か月間睡眠が十分に取れませんでした。
- ・ 横浜から高槻への週末通院が必要でした。
- ・ 治療中断後に再発し、再度治療を始める必要がありました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。



2014 年 4 月 26 日の皮膚状態の記録。



2014 年 5 月 18 日の皮膚状態の記録。



2017 年 5 月 14 日の皮膚状態の記録。



2017 年 5 月 28 日の皮膚状態の記録。

7. 経過のまとめ

2013 年の治療開始後、数か月で強いリバウンドが出ましたが、約 2 か月で強い時期を越え、半年ほどでほぼ落ち着きました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。